

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

シクラメン一鉢を囲う寒波くる
音もなくたつ鳥チリりと降る霧氷
買物をしてまい忘れて雪の家
立春を待ちわびて居る我が居る
健やかに喜寿となりたる初日の出
銀幕に「山本五十六」凍ての道
一族か、餌台分け合い寒雀
久しぶり焼き芋の笛流れくる
艶やかに寒のピーマン恋遠し

稲田 文江
大山みどり
越坂 順子
橋本 葉子
長谷川アキ
福原 仁子
松尾枝実子
渡邊 道
高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

茶柱が一本いい日をつれて来た
返し針明日の絆に続く幅
流行の重ね着ステキチラチラリ
しわ刻む七十年の長い道
昼下り伝説を知り茶をすする
八十路きて二人互いの杖となる

山村 幹雄
阿部 麗紅
柴田 弘子
星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子

川柳

上浦幌句の会

湯治湯に干し葉ののれん健やかに
野菜物一寸ずりに家の中
農滅し商工隆盛T P P
星空で月がかけてき三日月に
年齢重ね日増しに戸惑う歳の暮
煙りなく独り居老いの入退院
名物で互いの無事を確める

笹島カヨ子
河村みよ子
大西 功
山田エツ子
福田すま子
芳川 乙美
朝日ヒロ工

短歌

心友愛会

振り返る長き人生我は生き
明日への命感謝で向かえ
今年こそ楽しい年をとりたい
苦のたね減らず子の悩み有り
日だまりスイニン朝日を浴びて踊りだす
小さな孫に仕草似ており
雪掻きは足元悪く気が抜けぬ
無事終わって汗を拭いて
雪はねて春を見つけた昨年より
雪の深さが春を遅らせ
今日も又リュック背おいて杖ついて
心はずませ会へと急ぐ
雪よけて足がふらつき滑ります
腰を痛めて通院ばかり
今日も又腕に寄りかけ作る味
仲間の笑顔に励まされつつ
春遠い鉢うえ野菜底をつき
庭の畑の土が恋しい
今年こそ色々挑戦するんだと
何が出来るか友の手かりて
笑顔だけ誰にも負けぬ我なのに
風邪に負けてか苦笑いになる
待ち侘びる春のきざしは遠のきて
寂しきままの雪の重さに

堀井あやの
山久保敬子
山岸 明美
前川 静江
富田さた子
長屋みよ子
角田美代子
山口 静子
田代 千工
文屋 房子
千葉 光江
星 愛子

編集後記

■表紙の写真は、しらかば保育園で行われた節分の豆まきの様子です。節分と言えは豆まきと「恵方巻き」。昨年は食べなかったのですが、今年は食べてみようかと思いましたが、残り一口くらいの時にハッと気づいたこと「これって恵方を向いて食べないと駄目じゃない？」今年の恵方は北北西、向いていたのは南南東……。まったくの逆方向だったことに「今年も福は来ないな」と寂しく食べ終わりました。

■インフルエンザがまた流行っているようです。皆さんは大丈夫ですか？外から戻ったら「うがい・手洗い」をしっかりと、予防に努めましょう！

(川)

■掲載された写真は、差し上げますので（本人または家族）、お気軽にご連絡ください。